

平成 29 年度

健康部 保健所 重点施策・事業の進捗状況

(1) 保健医療・公衆衛生分野における災害対策

目標	近年の災害においては、保健医療・公衆衛生分野での対策の重要性が言われ、DMAT（災害派遣医療チーム）や DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）等、被災地支援・受援体制の構築が進められています。被災自治体においては、医療の提供に係るコーディネートをはじめ、被災者の健康面のフォローや衛生面の管理・監視等、保健所が担う役割は大きく、本市地域防災計画では、地域災害医療本部を保健所に設置するとしています。そこで、災害時において、保健所が中核となって、市域の保健医療・公衆衛生に関する活動に適切かつ円滑に取り組めるよう、体制の整備を図ります。
取り組み	関係機関等と連携し、災害対策に係る訓練を実施するとともに、マニュアルの検証・見直しに取り組みます。 平成 29 年度当初予算：400 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

政府における大規模地震時医療活動訓練にあわせ、地域災害医療本部訓練を実施し、マニュアルの検証を行ったほか、災害拠点病院等の関係機関との通信訓練や、市内病院と連携した EMIS 入力訓練等を行った。

(2) 薬物乱用防止啓発の推進

目標	平成 27 年 11 月に小学生が大麻を吸引するという事件が発生する等、若年層への薬物汚染が急速に広がり大きな社会問題となっており、青少年による薬物乱用の根絶及び規範意識の向上は重点課題となっています。 そこで、青少年・若年層に対して違法な薬物の危険性について正しい知識の普及をめざして啓発活動を行います。
取り組み	小学生・中学生を対象に薬物乱用防止教室に取り組む各団体と情報交換・情報共有を行うとともに、連携・協力体制の強化を図り、薬物乱用防止啓発活動を行います。 平成 29 年度当初予算：573 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

枚方市薬物乱用防止連絡会を開催したほか、薬物乱用防止教室講師紹介の要望があった市内小学校 2 件、中学校 1 件に対し、連絡会構成団体に所属する講師を紹介した。

(3) ヘルシーメニューの開発支援

目標	日々の生活の中で、栄養・食生活分野は、がん、心疾患、脳卒中、糖尿病等多くの生活習慣病との関連が深くなっています。一方、本市が実施したアンケート調査によると、外食への依存傾向がみられました。そこで、食を取り巻く環境の改善が食生活面からの個人の健康づくりにつながることから、飲食店に対して啓発を行い、ヘルシーメニューの提供を通じて健康づくりの推進を図ります。
取り組み	枚方市独自で設定する「ヘルシーメニュー基準」に基づき、ヘルシーメニューの開発及び提供を行います。市民が利用しやすいよう、冊子やリーフレットを作成し、広く周知を行います。
	平成 29 年度当初予算：1,789 千円

9 月末の 進捗状況 【○】

市内飲食店 26 店舗と、市独自の基準に基づき共同作成したヘルシーメニューを 8 月から提供。冊子・リーフレットを作成し、店舗を含む約 60 ヶ所に設置・配布を行うとともに、広報や地方紙などを通じて周知を行った。

(4) 食中毒など健康危機事象発生の未然防止

目標	安全で快適に生活できるよう、食品関係施設や理美容所などの生活衛生施設における衛生水準の向上を図り、健康危機事象発生の未然防止をめざします。
取り組み	食の安全・安心への関心が一層高まる中、食品等事業者へ HACCP（ハサップ）による衛生管理の手法を普及・啓発し、食中毒などの健康危機事象発生の未然防止に努めます。
	平成 29 年度当初予算：15,159 千円

9 月末の 進捗状況 【○】

食品等事業者に対して講習会、窓口にて HACCP に基づく衛生管理の手法について普及・啓発し、導入を推奨するとともに、市民に対して健康関連イベント等で HACCP による衛生管理を広く周知した。

(5) こころの健康づくりの推進

目標	身近に個々の相談ができる体制づくりや、疾患の初期段階から適切な相談や支援につなげるためのネットワークづくりを行うことでこころの健康づくりの推進を図ります。
----	---

取り 組み	専用電話による「こころの健康相談」及び、モバイル機器を活用したメンタルチェックシステム「こころの体温計」、精神保健講演会等を通して、こころの健康づくりの啓発に努めます。また、関係機関との連携や精神科医師による相談等を通じ、相談や支援を行うとともに、疾患の初期段階から適切な相談や支援につなげるためのネットワークづくりを行います。
	平成 29 年度当初予算：3,788 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	専用電話による「こころの健康相談」、メンタルチェックシステム「こころの体温計」、精神保健講演会を通じてこころの健康づくりの啓発を行った。「こころの健康相談」相談件数は延べ 275 件、「こころの体温計」についてはアクセス数が 18,653 件であった。精神保健講演会は、2 回開催。市民や関係機関職員 52 名が参加した。
----------------------	---

(6) 難病対策の推進	
目標	難病患者やその家族が地域で安心して過ごせる在宅療養環境を整備します。
取り 組み	健康医療都市ひらかたコンソーシアム参画団体で構成する枚方市難病対策分野神経難病対策医療ネットワーク部会を通して、関係団体と情報を共有し、在宅難病患者が抱える地域医療の課題に取り組みます。
	平成 29 年度当初予算：6,567 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	難病患者を含む在宅医療の推進を図るため、市内病院を対象に平成 28 年度部会発行の「在宅医療資源集」「訪問看護資源集」活用状況に関する調査を実施した。
----------------------	---

(7) 妊産婦への支援の拡充について	
目標	安心して楽しく子育てできるまちの実現に向け、妊娠・出産から子育て期にわたる切れ目のない支援策を充実させます。
取り 組み	産後うつや新生児への虐待予防等を図る観点から産婦健康診査にかかる費用を助成し、健診の結果、支援が必要な母子への心身のケアや育児サポート等を行います。また、妊娠届出時に交付する母子健康手帳のデザインを 4 種類準備し、妊婦やその家族が好きなデザインから選べるようにします。
	平成 29 年度当初予算：19,585 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	特定不妊治療費の助成を 107 件（内、初回申請 46 件と男性不妊治療あり 1 件）実施した。不育症治療費の助成を 6 件実施した。選べる母子健康手帳の交付は、4 月より開始し、好評を得ている。産婦健康診査にかかる費用助成を 10 月 1 日以降出産の産婦から開始予定。
----------------------	--

（8）市民の健康を支える地域拠点の整備	
目標	赤ちゃんから高齢者までが健康で生き生きと暮らすことができるまち、安心して子育てできるまちづくりをめざします。
取り組み	より身近な地域で市民が気軽に相談でき、妊娠・出産から子育て期、さらには成人・高齢期までの切れ目のない支援を行うことができる地域拠点を、北部支所内に整備します。
	平成 29 年度当初予算：12,658 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	平成 29 年 12 月開設に向けて準備を進めている。
----------------------	-----------------------------

（9）各種がん検診の推進	
目標	がんを早期発見し、適切な治療に結びつけられるよう、引き続き、各種がん検診について受診率向上や精度管理の取り組みを進めます。
取り組み	無料クーポン券の送付や、がん検診受診率アップキャンペーンの取り組みを継続するとともに、若年層での発症リスクが高い子宮頸がん検診については、国立がん研究センターが受診を促すためにマーケティングの考え方に基づいて作成された受診勧奨圧着はがきを送付します。また、平成 29 年 4 月から 50 歳以上の市民を対象に胃がん検診内視鏡検査を開始します。
	平成 29 年度当初予算：444,787 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	4 月から胃がん検診内視鏡検査を開始し、23 医療機関で受診できる体制となった。6 月末に、子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診の無料クーポン券を送付、9 月上旬に、国立がん研究センターが受診を促すためにマーケティングの考え方に基づいて作成された子宮頸がん検診受診勧奨圧着はがきを送付した。がん検診受診率アップキャンペーンの取り組みを引き続き実施し、がん検診受診率 50% 達成に向けた集中キャンペーン月間である 10 月には乳幼児健康診査などでがん検診の周知を行う。
----------------------	--